

偽りの予算から「生きた実行予算」へ

プロジェクト型ビジネスにおける収益のブラックボックスを解き明かす

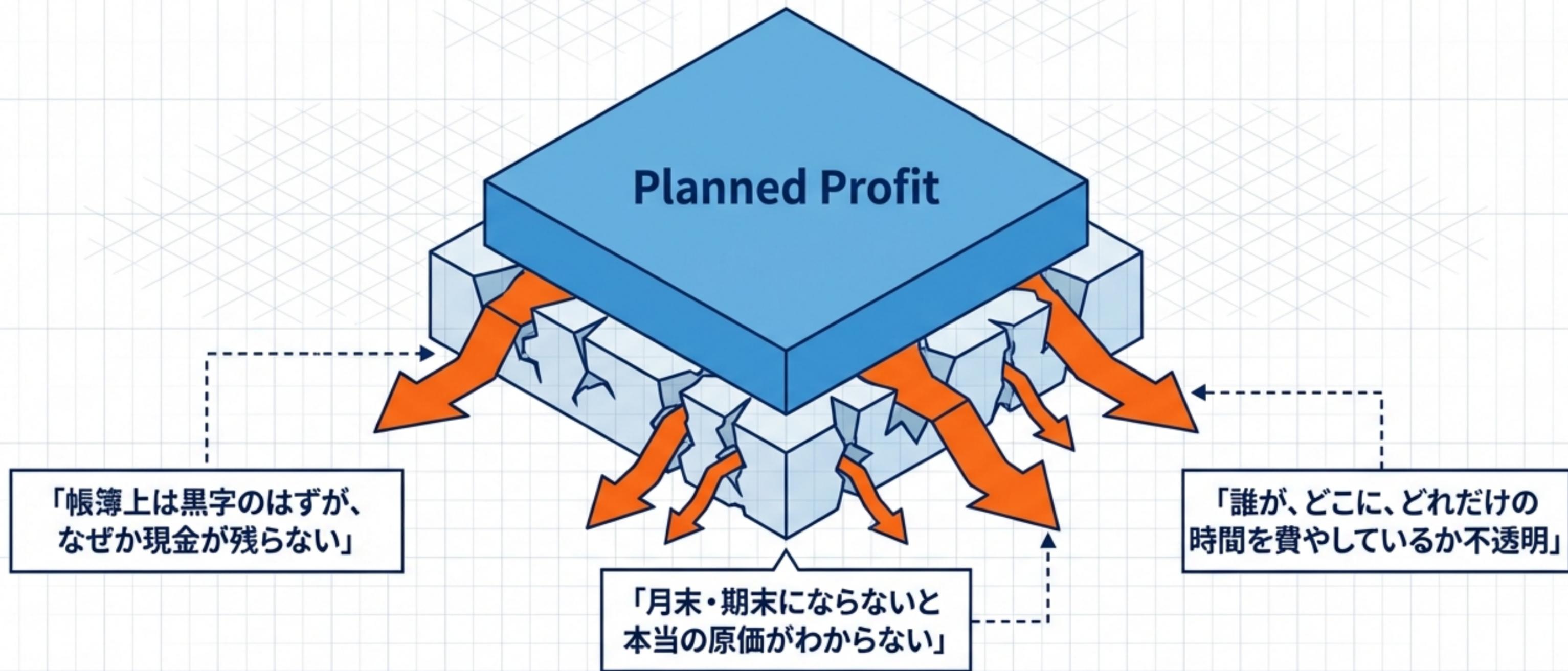


Architect's Title Block

株式会社プロジェクト・イノベーション

代表取締役CEO / プロジェクト管理会計士
古谷 幸治 (Yukiharu Furuya)

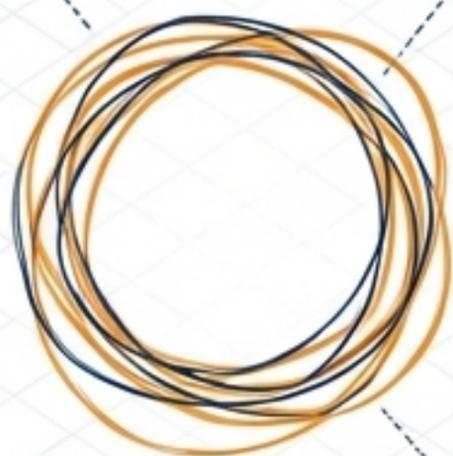
プロジェクト収益の「ブラックボックス」



根本的な原因は、現場の実態から乖離した「死んだ予算」にあります。

偽りの実行予算：3つの警告サイン

どんぶり勘定



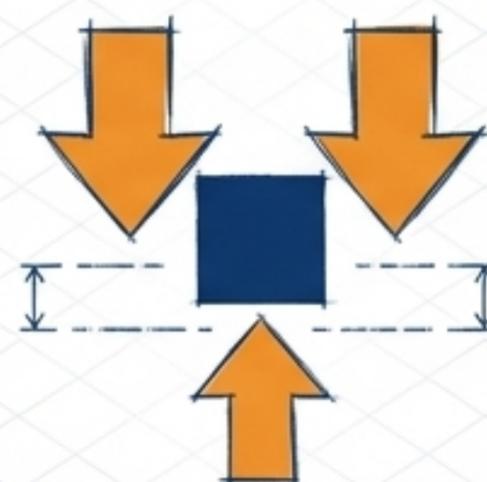
過去の経験や勘に頼り、根拠のない数字を並べただけ。現場では「いくら使えるか」の目安にしかない。

丸投げ



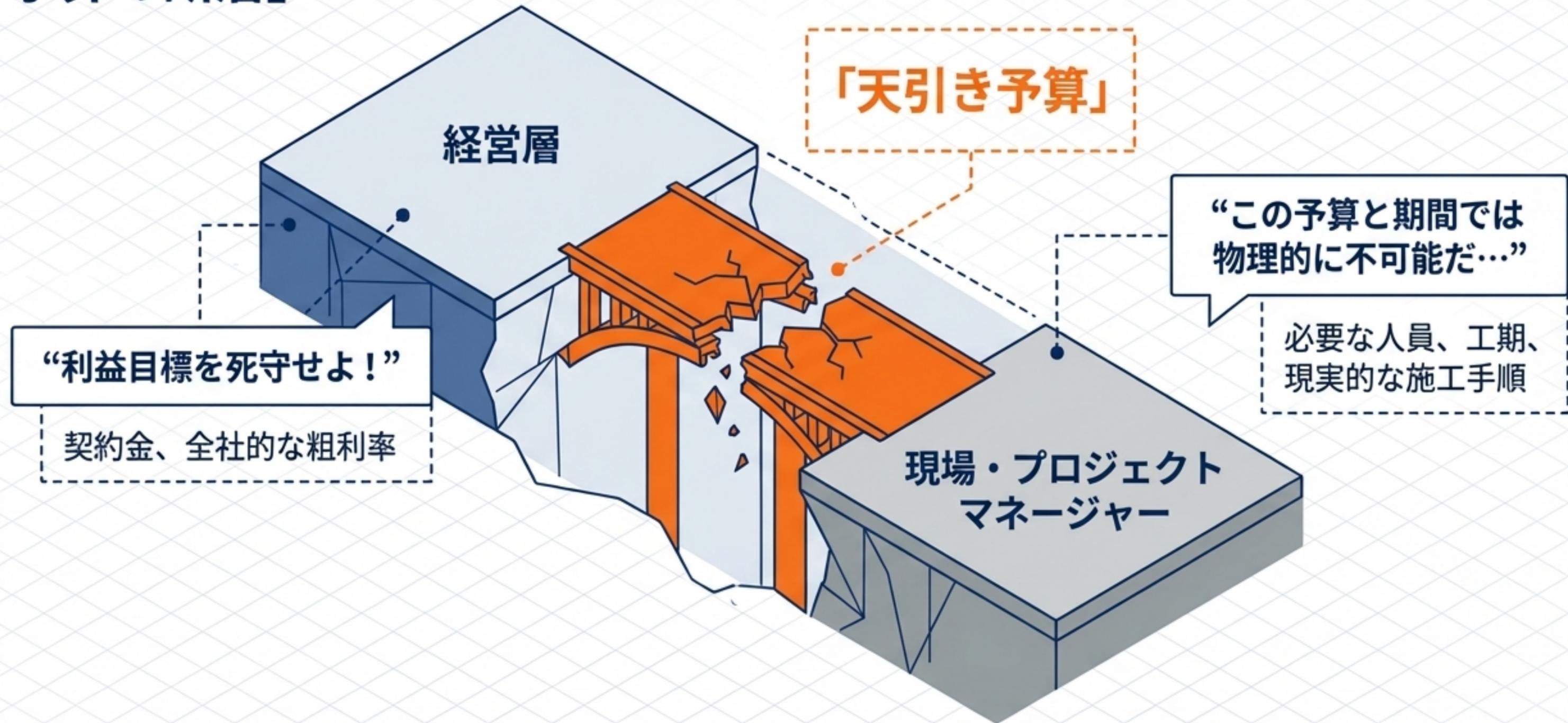
協力会社からの見積もりをそのまま集計しただけ。自社での原価統制や交渉の余地を放棄している状態。

天引き



経営陣が求める「粗利」を強引に差し引き、残りを現場に押し付ける。現場のモチベーションと品質を破壊する。

経営層と現場を分断する 「予算の断層」



パラダイムシフト：「死んだ予算」 vs 「生きた予算」

死んだ予算

生きた予算

経営陣への報告用

Noto Sans JP



目的



現場を動かすための設計図

Noto Sans JP

机上の空論・過去のどんぶり勘定

Noto Sans JP



根拠



具体的な作業手順と歩掛り

Noto Sans JP

「金額」のみ

Noto Sans JP



焦点



「誰が・いつ・何日」

Noto Sans JP

作成して終わり（静的）

Noto Sans JP



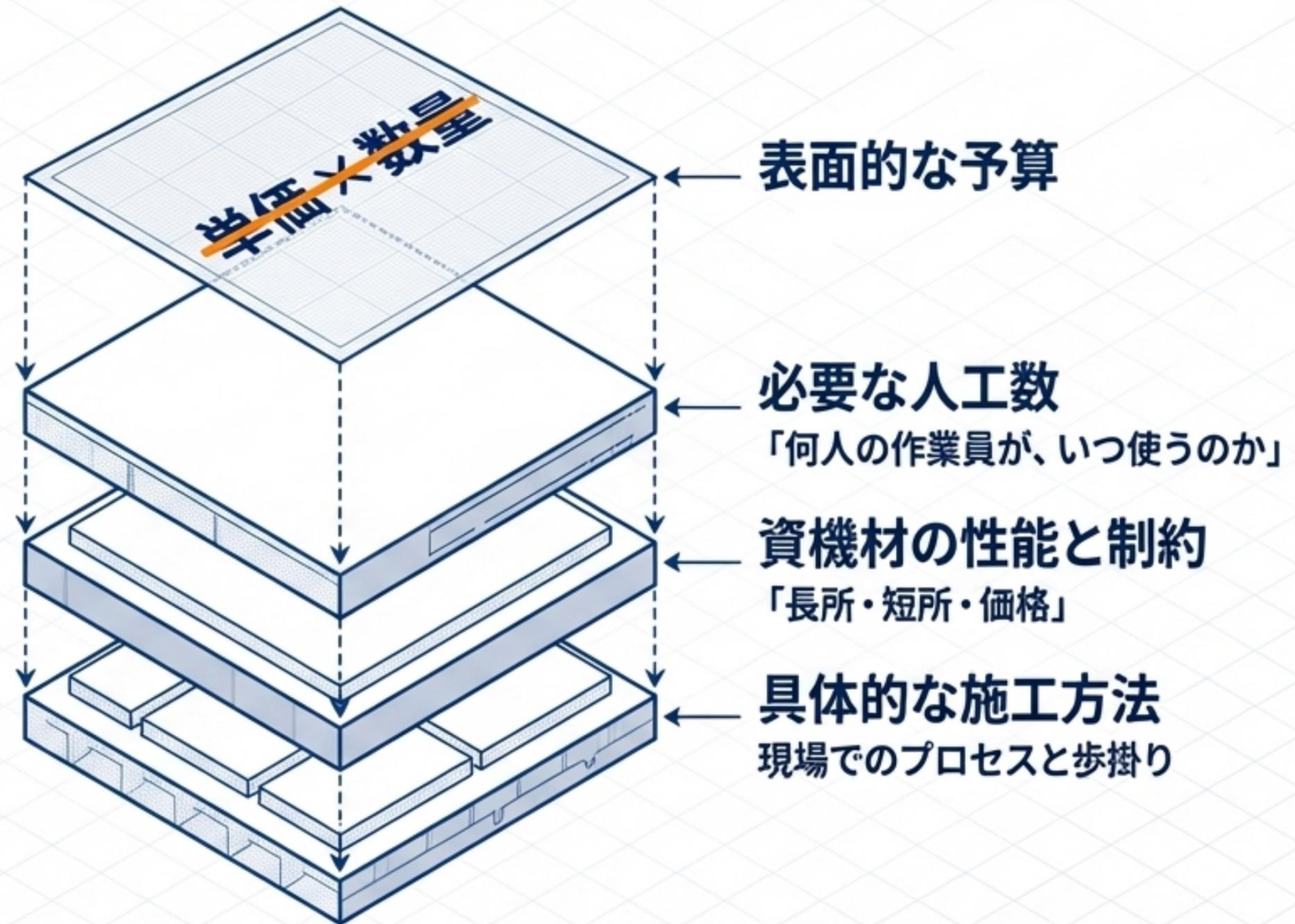
状態



常に実績と照合・更新される（動的）

Noto Sans JP

「生きた予算」の解剖図：単価の中身を知る



生きた実行予算とは、単なる「数字の集計」ではなく「具体的な実行計画」そのものである。

生きた実行予算を成立させる6つの条件

自作と理解



現場責任者自身で作成し、内容を完全に理解している。

工法の積み上げ



歩掛りや施工方法に基づき、根拠が積み上げられている。

資機材の把握



使用するリソースの性能と価格を熟知している。

リアルタイムの残高管理



着手時に予算を引き当て、残額と残り工数が即座にわかる。

歩掛りの取得



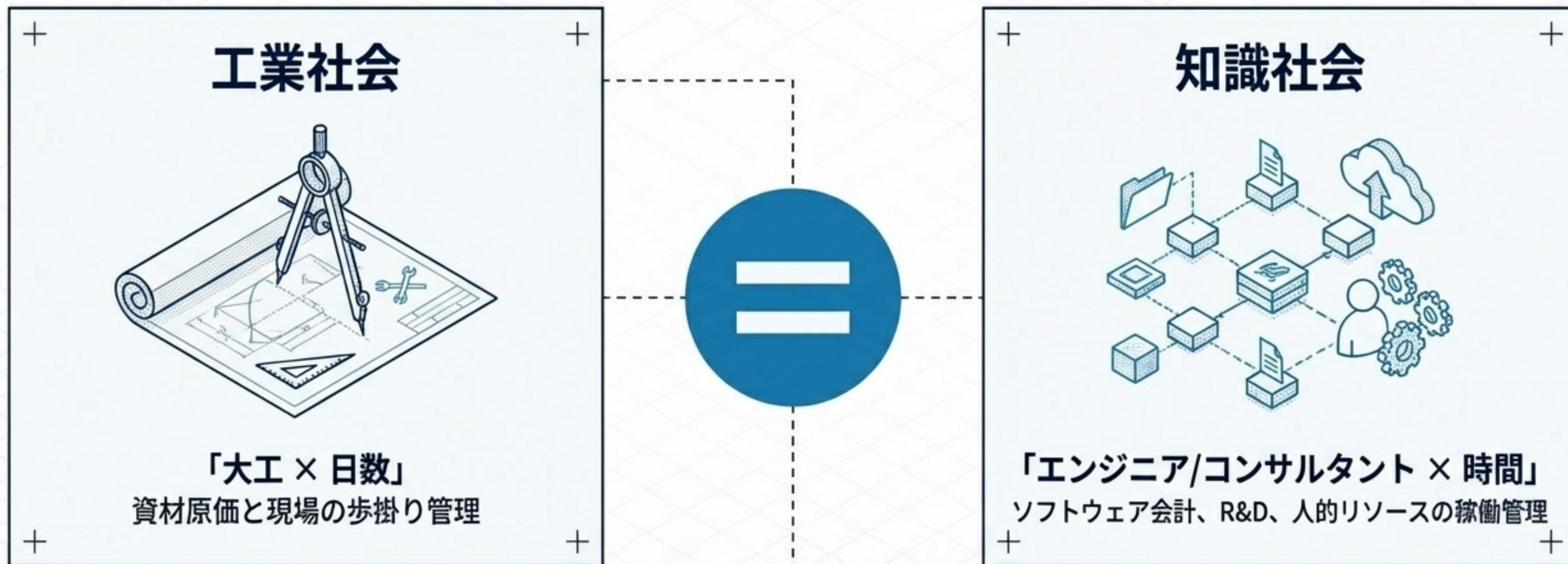
作業ごとの正確な生産性（歩掛り）データが取れる。

工程・品質との連動



スケジュールや納品品質との関係が明確である。

知識社会の設計図：建設業からナレッジワーカーへ



知識労働者の生産性を測る「歩掛り（工数）」の管理こそが、
現代のプロジェクト型ビジネスにおける最大の競争優位性となる。

プロジェクト管理会計のアーキテクト

プロジェクト管理会計士
株式会社プロジェクト・イノベーション 代表取締役CEO
古谷 幸治 (Yukiharu Furuya)

[専門領域]

業務・IT・会計・経営企画を統合したプロジェクト型ビジネスの経営管理

[実績]

200社以上の企業へのコンサルティングと圧倒的な支持

[使命]

知識社会における「ナレッジワーカーの生産性を測る伝道師」

現場のリアルから生まれた実践的メソッドの進化

1991

現場の過酷な現実

不動産デベロッパー財務部。和議（民事再生）を経験し、建設業界のシビアな原価管理と倒産リスクを肌で学ぶ。

2002

システム化とIPO

ITCRM企業「エンプレックス」CFO参画。建設業の会計知識をIT/ソフトウェア開発に適用し、PBMシステムを体系化。

2010

多角化とエンタメ

東証一部「ホリプロ」経営企画・新規事業。映像制作やタレント事業など、めて属人的なプロジェクトの収益管理を構築。

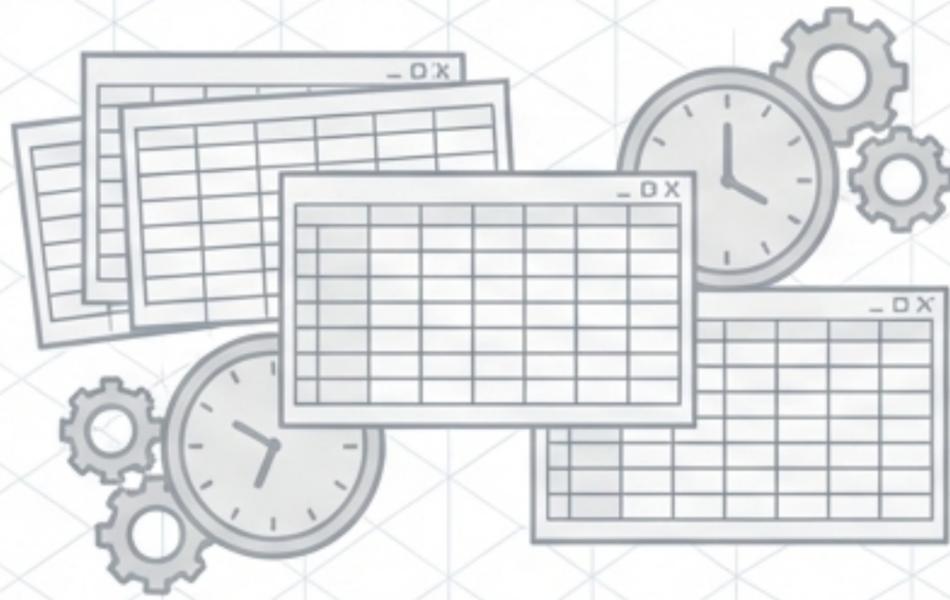
2020

究極の体系化

プロジェクト・イノベーション設立。200社以上の知見を統合。

解決策：Project Budget Management (PBM)

アナログな「生きた予算」の哲学を、現代のデジタル技術でシステム化した独自の手法。



PBM



1. 脱・属人化

経験や勘に依存しない、
データに基づく標準化された
見積もりと予算策定。



2. 時間＝原価の可視化

タイムシートと経費を連動させ、
ナレッジワーカーの「工数」
リアルタイムに金額へ変換。

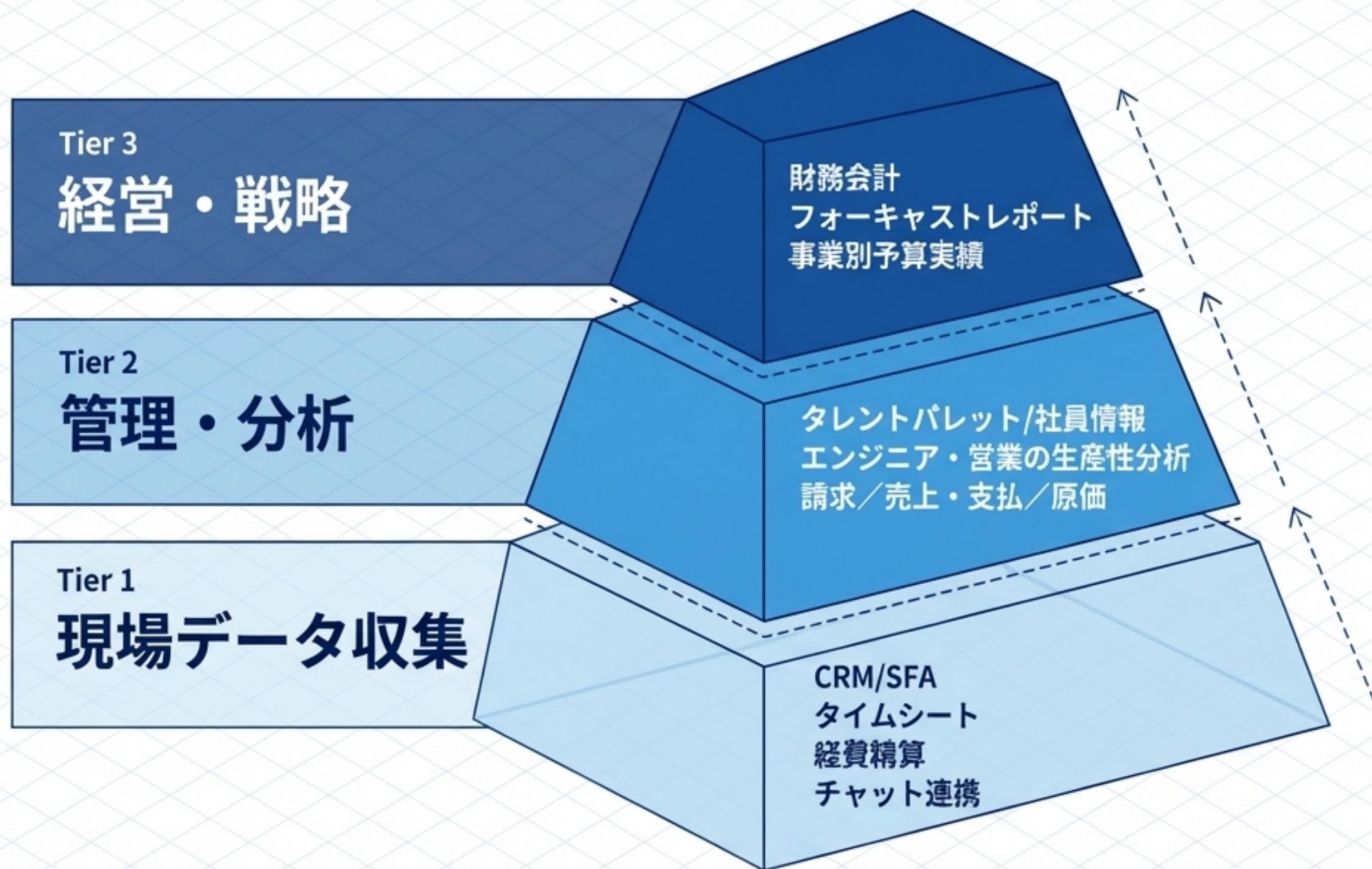


3. 未来の予測

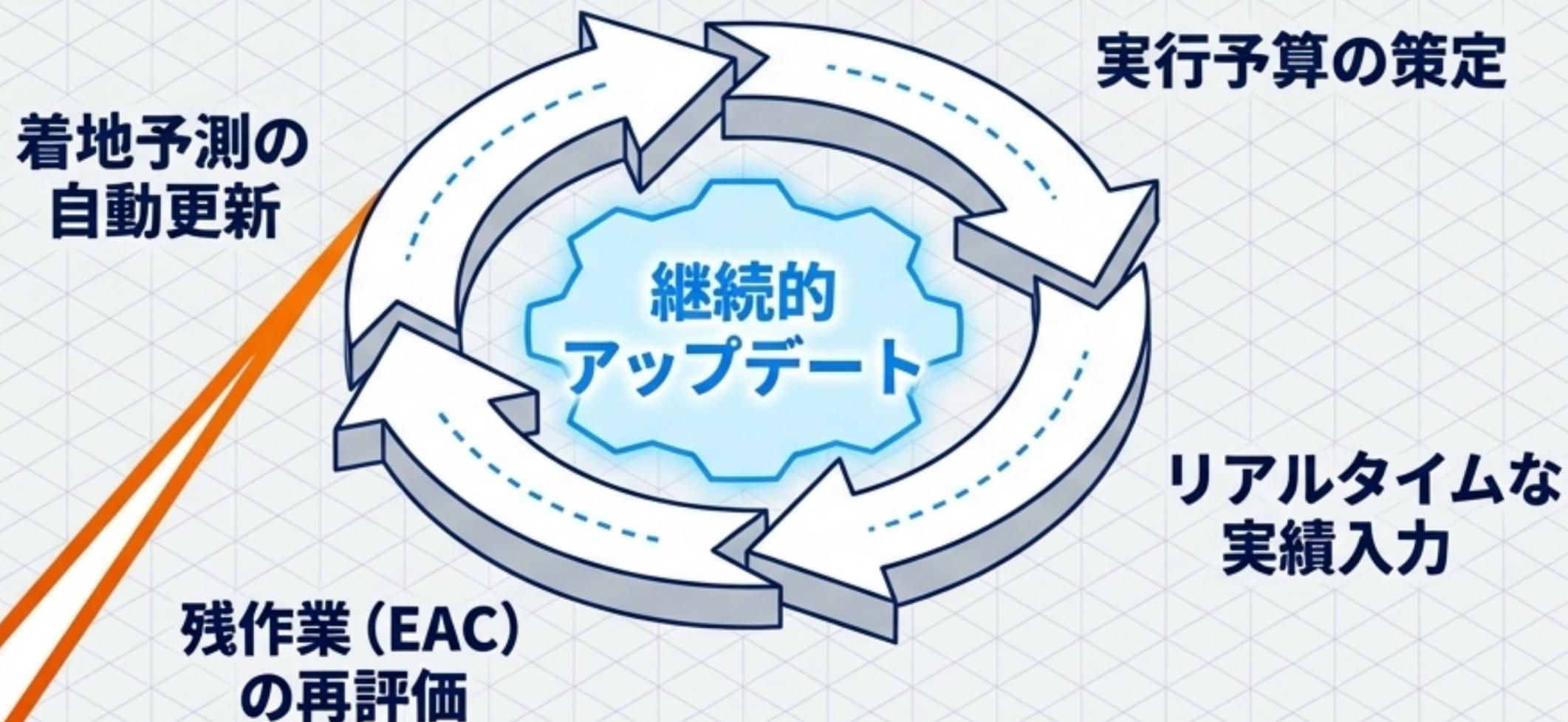
過去の集計ではなく、プロジェ
クト着地時の利益を常に予測
するフォーキャスト管理。



PBM アーキテクチャ：収益を生み出すデジタル技術スタック

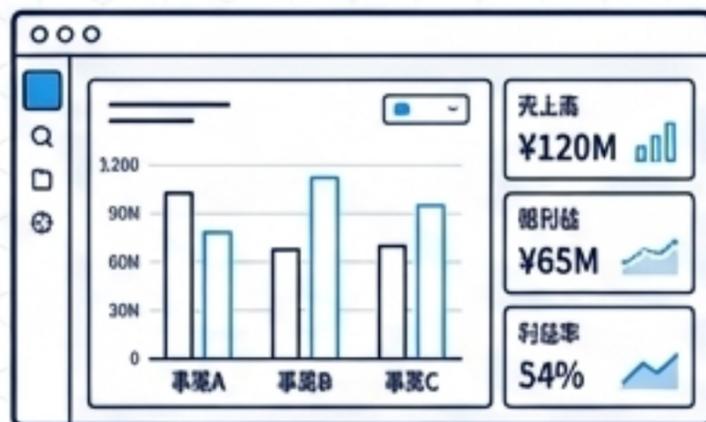


利益創出のエンジン：「フォーキャストマネジメント」



独自のフォーキャストレポートにより、「手遅れになる前」に軌道修正が可能。
プロジェクト終了時の赤字サプライズを完全に排除します。

コンサルティング・バリュー：提供される「真の可視化」



組織全体の健康診断

Output: 事業別売上・粗利益・利益率レポート

Benefit: どの事業部、どのサービスが本当に利益を生んでいるかを特定。



プロジェクトの解像度向上

Output: プロジェクト収支実績レポート & フォーキャストレポート

Benefit: 個別のプロジェクトごとの「生きた予算」の消化状況と着地予測をリアルタイム監視。

	稼働率	スキル	パフォーマンス
チームA	85%	High	Excellent
チームB		High	Excellent
チームC			92%

人的資本の最適化

Output: 稼働分析レポート & タレントマネジメント

Benefit: ナレッジワーカーの生産性を定量化し、最適なアサインと評価基準を構築。

御社のプロジェクトに、真の設計図を。

どんぶり勘定から脱却し、知識ワーカーの生産性を最大化する「生きた予算」の構築へ。

株式会社プロジェクト・イノベーション

プロジェクト管理会計士による、御社の収益化構造の無料診断を実施中。

[Website URL / QR Code / Contact Email]

利益は、精緻な設計から生まれる。